

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年9月1日 NO.37 (337)

モンタ博士「国立第七小学校のよい子のみなさん。おひさしぶりです。いよいよ新学期
大きなケガや事故がなく、みんなで元気に笑顔で2学期がスタートできて、
モンタ博士はとってもうれしいよ。」

オー君「そうですね。2学期は1番長い学期なんですね。それに遠足や校外学習、
さらに展覧会などなど、楽しい行事がいっぱいだ。」

花ちゃん「そうね。これからは、少しずつ涼しくなって気候もよくより、読書の秋、
勉強の秋、スポーツの秋ですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。大いに遊び学び、『かしこく・やさしく・げんきよく』
国立七小の子どもとしてがんばっていこう。期待しているよ。ところで、
二人とも夏休みに、真っ黒に日焼けしてたくましくなったね。」



毎日、学校のプールで
たくさん泳いだんです。

暑くても、外で元気に
遊んだんです。



モンタ博士「それはすばらしい。これからもじょうぶな体をつくっていこう。」

オー君 「ところで、モンタ博士。お日様に当たると、どうして黒く日焼けするの。」

モンタ博士「それはいい質問だね。みんなで科学的に考えてみよう。」

花ちゃん 「海に行ったりして、たくさん日光浴をすると、赤くなったりいたかったりするけど、日焼けって、やけどみたいなものなんですか。」

モンタ博士「そうだね。急にたくさんの日光をあびると危険だから気をつけよう。太陽の光の中には、目に見えない『紫外線』という光がふくまれているんだ。その光をたくさんあびると、皮膚が黒っぽくなるんだ。」

花ちゃん 「どうして黒くなるのですか。もう少しわかりやすく教えてください。」

モンタ博士「ちょっとむずかしいお話になってしまうけど、『紫外線』をあびると、体を守るために皮膚にある『メラニン細胞』が『メラニン色素』を作るんだ。」

オー君 「『メラニン?』なんて聞いたことないよ。」

モンタ博士「『メラニン色素』がたくさん作られると、皮膚の色が黒っぽくなるんだよ。」

花ちゃん 「太陽の光、つまり『紫外線』をたくさんあびると、体にいいのですね。」

モンタ博士「そうでもないんだよ。『紫外線』には、よい働きとして、骨をじょうぶにしたり、細菌をころしたりするんだ。でもね、その反対に、光をあびると、しみができたり、皮膚のガンになりやすくなったりするよ。目を悪くすることもあるので、気をつけてほしいね。」

オー君 「『紫外線』っていろいろなんですね。とてもよい勉強になりました。」

花ちゃん 「人間の体って、不思議がいっぱいですね。これからも調べたいです。」

モンタ博士「そうだね。『国立てくてく』で、人間の体の不思議さを学んでほしいね。」

